

3 化学物質のランク及びリスクレベルの確認

《作業名》	塗装
リスクレベル	4, S
《化学物質名》	レタンPGハイブリッドエコ531ホワイト
有害性ランク	E, S
揮発性ランク	中
取扱量ランク	中量
リスクレベル	4, S

【有害性ランク】

ランクA～Eまでは、その物質を吸い込んだ場合の有害性の程度を表します。(Eの方が高毒性) ランクSは、その化学物質が皮膚に触れると障害を起こす可能性があることを表します。

【揮発性・飛散性ランク】

揮発性・飛散性の程度を大・中・小の3ランクで表します。

【リスクレベル】

有害性ランクと揮発性・飛散性ランクと取扱量ランクを基に、リスクの高さを1～4で表します(4の方がリスクが高い)。また、眼や皮膚へのリスクがある場合はSも表示します。

8 “OK”を押して、4へ

4 作業のリスクレベルと対策シートの表示

リスク低減対策をご確認ください。

リスクレベル	実施すべき事項
4	化学物質の使用の中止、代替化、封じ込めの実施 1)原料の代替化 2)工程の密閉化 など
S	皮膚や眼に対する保護具の使用 など

レポート及び対策シートをご確認ください。

作業名	対策シート表題	シートNo.
一般原則	一般原則	400
一般原則	皮膚や眼に有害な化学物質に対する労働衛生保護具	SK100
一般原則	呼吸用保護具の選び方と使い方	R100

9 10 11 次の作業を入力する 終了

【対策シート】

リスクレベルと作業内容に応じて、選択されたものが表示されます。対策シートに示された措置は、推奨される措置です。ここに記載された措置のほかにも、同様な効果が考えられる措置を実施すること、例えば、対策シートに局所排気装置とあるが、局所排気装置の設置が困難である場合には、全体換気を行うとともに呼吸用保護具を使用することにより労働者のばく露を許容濃度以下にすることも考えられます。

9 10 各項目のpdfファイルを押すことで“レポート”・“対策シート”が表示されます。

11 “次の作業を入力する”を押すことで、連続して他の製品のコントロール・バンディングを行うことができます。

7 リスクアセスメント結果を作業者へ周知します

周知の方法は以下のいずれかによります。

- 1 作業場に常時掲示、または備え付け
- 2 書面を労働者に交付
- 3 電子媒体で記録し、作業場に常時確認可能な機器(パソコン端末など)を設置

リスクアセスメント実施レポート

タイトル	钣金塗装作業
実施担当者名	山田太郎
作業場所	東京工場
作業内容	塗装
労働者数	10人未満

化学物質形態 液体
化学物質名 1

リスクレベル	有害性ランク	揮発性ランク	取扱量ランク	化学物質名
4, S	E, S	中	中量	レタンPGハイブリッドエコ531ホワイト

リスク低減対策

リスクレベル	実施すべき事項
4	化学物質の使用の中止、代替化、封じ込めの実施 1)原料の代替化 2)工程の密閉化 など
S	皮膚や眼に対する保護具の使用 など

作業名	シート表題	管理対策シートNo.
一般原則	一般原則	400
一般原則	皮膚や眼に有害な化学物質に対する労働衛生保護具	SK100
一般原則	呼吸用保護具の選び方と使い方	R100

対策シート 400 一般原則

対策シート SK100 皮膚や眼に有害な化学物質に対する労働衛生保護具

対策シート R100 呼吸用保護具の選び方と使い方

対策シート 400 一般原則

対策シート SK100 皮膚や眼に有害な化学物質に対する労働衛生保護具

対策シート R100 呼吸用保護具の選び方と使い方